

「重要インフラのサイバーテロ対策に係る特別行動計画」のフォローアップ等について」
 (平成14年3月 情報セキュリティ対策推進会議 第5回会合 資料) より

特別行動計画における取組みの強化に向けた検討課題

民間重要インフラ事業者等の取組みの状況については、これを把握するための体制、枠組みが存しない分野もあるほか、これら取組みの実効性の確保方策について、必ずしもその受皿や方策が整っていない現状が存する。

これを踏まえ、民間重要インフラ事業者等の情報セキュリティ確保に関する取組みを一層促進するべく、以下の課題に関し、今後の方向性や具体策について重要インフラ分野ごとに検討を進めることとする。

なお医療分野については、今後のIT化の進展状況等を見極めつつ、重要インフラ分野の1つに位置付けることについて、検討を進めることとする。

【検討課題】

重要インフラの情報システムに関する現状把握・検証

重要インフラの基幹をなす情報システムに関し、それぞれのシステム構成やそれらの外部ネットワークへの接続の有無・運用状況のほか、サイバー攻撃を受けた場合に想定される事態などにつき、各分野内での把握・検証等の方策を検討する。

民間重要インフラ事業者等におけるサイバーテロ対策状況の把握

各事業者等の取組状況の把握等を行うための手法・体制等を検討する。

民間重要インフラ事業者等におけるサイバーテロ対策の実効性の確保

各事業者等における取組みを一層効果的なものとするため、以下に例示する観点等から、官民における実効性の確保方策を検討する。

[例]

- ・ 既存の検査体制等の活用など指導・監督の在り方
- ・ 情報セキュリティに関する専門家等も参加した官民合同の検討体制等の在り方
- ・ 事業者団体等における実効性担保のための体制の在り方

その他政府における検討事項

政府においては、 から の検討状況を踏まえ、以下に例示する観点等から、サイバーテロ対策の一層の促進方策について、その必要性を含め検討する。

[例]

- ・ 重要インフラにおける情報セキュリティ確保のための技術基準等の在り方
- ・ 各分野内における新たな体制構築へのサポートなど、事業者等に対する支援施策の在り方
- ・ 重要インフラにおける取組みの実効性の確保に必要な制度的枠組みの在り方